

# アルゼンチン知的財産ニュース(月報)

Vol.1 (2018年5月分)

2018年6月12日発行

日付	2018年5月2日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	アルゼンチン産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	<a href="http://www.inpi.gov.ar/noticias/financiamiento-cofecyt">http://www.inpi.gov.ar/noticias/financiamiento-cofecyt</a>			
タイトル	COFECYT 融資について			
要約	<p>科学技術イノベーション省 (MINCYT) は、アルゼンチン全県・地域において科学・技術・イノベーション及び知識移転を発展・強化させるため、連邦科学技術評議会を通じ、これら活動の促進と保護を目的とした融資プログラムを提供する。利用可能となるのは、革新的事業、技術企業、科学技術研究、人材の育成及び国内定着、インフラ・機器の近代化の支援を目的とした融資。新規申込のための融資メニューのリストと申請の実施は次のリンクから参照可能。 (<a href="https://www.argentina.gov.ar/cofecyt/financiamiento">https://www.argentina.gov.ar/cofecyt/financiamiento</a>)</p>			

日付	2018年5月6日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	アルゼンチン産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	<a href="http://www.inpi.gov.ar/noticias/ranking-cuales-son-las-5-marcas-mas-valiosas-de-la-argentina">http://www.inpi.gov.ar/noticias/ranking-cuales-son-las-5-marcas-mas-valiosas-de-la-argentina</a>			
タイトル	ランキング：アルゼンチンで最も価値のあるブランド5つはどれか			
要約	<p>石油会社 YPF、Macro・Galicia の両銀行、ビール会社 Quilmes、通信会社 Personal の5社が、アルゼンチンにおいて最も価値の高いブランド5選となったと、WPP 及び Kantar Millward Brown による報告書で発表された。ラテンアメリカで最も価値のあるブランドに関する BrandZ のトップ 50 ランキングによると、これら5社のアルゼンチンにおける価値は、5,028,000 百万ドルに達し、3,473,000 百万ドルであった前年に比べ 45%増加している。国内市場では、公営の石油会社 YPF がトップに立つ。同社は前年比 34%の伸長を見せ、BrandZ のラテンアメリカ・ランキングでは 29 位となっている。</p>			

日付	2018年5月7日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サイト La Nacion	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	<a href="https://www.lanacion.com.ar/2132091-estados-unidos-y-la-propiedad-intelectual">https://www.lanacion.com.ar/2132091-estados-unidos-y-la-propiedad-intelectual</a>			
タイトル	米国と知的財産			

日付	2018年5月13日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サイト Infobae	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	<a href="https://www.infobae.com/tecnologia/2018/05/13/argentina-se-suma-a-la-convencion-de-budapest-para-tratar-delitos-informaticos/">https://www.infobae.com/tecnologia/2018/05/13/argentina-se-suma-a-la-convencion-de-budapest-para-tratar-delitos-informaticos/</a>			
タイトル	アルゼンチン、サイバー犯罪対策のためブダペスト条約に参加			

日付	2018年5月18日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サイト Clarin	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	<a href="https://www.clarin.com/rural/diversas-miradas-modificacion-ley-semillas_0_H1dQfK2CM.html">https://www.clarin.com/rural/diversas-miradas-modificacion-ley-semillas_0_H1dQfK2CM.html</a>			
タイトル	種子法の改正に関する様々な視点			

日付	2018年5月23日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	アルゼンチン産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	<a href="http://www.inpi.gob.ar/general/noticias/la-transformacion-de-marcas-en-la-argentina-articulo-del-dr-damaso-pardo">http://www.inpi.gob.ar/general/noticias/la-transformacion-de-marcas-en-la-argentina-articulo-del-dr-damaso-pardo</a>			
タイトル	アルゼンチンにおける商標に関する改革			
要約	<p>マウリシオ・マクリ アルゼンチン大統領の政権は、知的財産の保護を改善することで、同国を国際貿易上より魅力ある国にしようとしている。2016年、アルゼンチン産業財産庁 (INPI) は、同庁の近代化と電子プラットフォームの開発・統合を進める4カ年の戦略計画を開始した。2016年7月には、ダーマゾ・パルド氏がこれら改革の指揮を取るべく INPI 長官に任命された。最も重要な改善点の1つは、マクリ大統領が2018年1月に発行した2018年付け大統領政令第27号である。この政令は、公共行政手続きの時間と費用を削減することを目的としたもので、知的財産制度にも影響している。この政令はすでに発効しているものの、未だ INPI による細則の策定中である。登録済み商標に関してこの政令は商標法令第22,362号の異議申し立てやその他の行政手続きに関する条項を変更している。さらなる変更点として、商標の使用証明や却下に関するもの、様式や図面に関する重要な変更も含んでいる。昨年、INPI は年間最多となる102,639件の商標出願を受付けた一方で、決定件数は2016年の106,606件から2017年には83,677件に減少した。</p>			

日付	2018年5月28日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	アルゼンチン産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	<a href="http://www.inpi.gov.ar/general/noticias/institutos-de-pi-de-america-latina-discuten-en-argentina-cooperacion-regional">http://www.inpi.gov.ar/general/noticias/institutos-de-pi-de-america-latina-discuten-en-argentina-cooperacion-regional</a>			
タイトル	ラテンアメリカ諸国の産業財産庁がアルゼンチンにて域内協力を協議			
要約	<p>は5月28～31日、アルゼンチン・ブエノスアイレスにおいて中南米地域の知的財産庁の多国間会合が開催された。28日午前には、南米知的財産庁間協力プロジェクト（PROSUR）の運営委員会合が開催された。協議内容には、域内商標フォーマットや中小企業向け研修関連技術の普及などの事業見直しが含まれた。特許分野では、発明者への表彰、PPH優先審査事業の促進、PROSUR参加諸国によるWIPO DASの採用について話し合われた。加えて、PROSURの戦略運営委員会のワークプラン、域内で知的財産を普及するための協力活動であるIP Key Latin America事業に関する協議も行われた。</p>			

日付	2018年5月31日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	アルゼンチン産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	<a href="http://www.inpi.gov.ar/general/noticias/la-historia-de-la-formula-secreta-que-se-convirtio-en-la-primera-marca-argentina">http://www.inpi.gov.ar/general/noticias/la-historia-de-la-formula-secreta-que-se-convirtio-en-la-primera-marca-argentina</a>			
タイトル	アルゼンチン初の商標となった製法にまつわる秘話			
要約	<p>オレンジに含まれる苦味成分に由来する名称を持つ飲料 Hesperidina は、米国ボストンからの移民であるメルヴィル・セウエル・バグレイ氏が生み出したもので、彼はアルゼンチン人がこよなく愛するこの製品を軸に企業帝国を築き上げた。バグレイ氏は、1862年にアルゼンチンにやってくると、ブエノスアイレス市内の薬局 La Estrella で働き始めた。そこで彼は、消化器系の問題を解決するため、薬草の蒸留とオレンジを主成分として利用した独創的なレシピの作成に乗り出す。Hesperidina は、このようにして一種の「トニックウォーター」として誕生したが、その一風変わった味と原料や製法の品質から、その後すぐに「エレガント」なカクテルとして知られるようになった一方、原料も不明な多くの類似品や偽物の格好の標的ともなった。しかしバグレイ氏の反応は早かった。ニコラス・アヴェジャネダ大統領との面談を要請し、国内に商標と特許の登録制度を創設する必要性を訴えた。彼は当時発効していた米国の法令のコピーを持ち込んだといわれ、結果としてそれが故に、アルゼンチンの法令は米国のそれと非常に似たものとなっている。1876年に Hesperidina はアルゼンチンで最初の商標となったのである。</p>			

---

アルゼンチン知的財産ニュース（月報）はアルゼンチンの知的財産に関する最新状況を日本の皆様にお伝えするため無料でお配りしています。なお、新聞社等の著作権に触れるおそれがありますので、公的機関以外の記事等の要約は掲載しておりません。予めご了承ください。

ご意見・ご質問・ご感想がございましたら、下記までご連絡下さい。

(独)日本貿易振興機構 JETRO サンパウロ事務所 知的財産権部

Alameda Santos, 771 Primeiro Andar, Jardim Paulista, CEP 01419-001, São Paulo -SP, BRASIL

TEL: +55-11-3141-0788, FAX: +55-11-3253-3351

E-MAIL: SAO\_ipr@jetro.go.jp

発行人：JETRO サンパウロ事務所 知的財産権部（特許庁委託事業）

免責事項：要約結果は出典原文の意図から相違が生じ得ます。JETRO はご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行ってください。本文を通じて皆様に提供した情報により不利益を被る事態が生じたとしても、JETRO はその責任を負いません。

---